

將碁盤

加賀二人 添田宗大夫神山孫兵衛事 手相角行落 嶋川市之進 手相かた馬

安藝一人 松岡宗悅 手相角行落 伊勢一人 萬屋仁左衛門 手相一枚半

〔増補下學集下時〕將碁盤シヤウギノバン

〔男重寶記三〕盤上の事

小將碁シヤウギ目、馬數四十枚、

〔塵滴問答〕男問云、世ノ中ニ圍碁雙六、又ハ將碁ナンド申、盤ノ上ノ遊ビ多ク侍リ、何様ナル事ヲ

哉、聖答云、○中將碁ハ十人ノ惡神、我國ヲ立シ佛法ヲアラセジトスルヲ、十八ノ善神フセギ

タ、カヒテ、惡神ヲ滅シ失タル姿也、惡神ト云ルハ、煩惱ニバカサレテ、三毒ノ國賊、十惡ノ盜人

盛ニシテ、惡行ワザトスル形也、善神ト云ハ、善戒ノ繩ニシバラレテ、三毒ノ國賊モ、十惡ノ盜人

モ、煩惱ノ家ヲ出テ、井ノ寶所ニ至ル姿也、盤ノ目ノ八十一有ハ九品ヲ顯ス、九々ニワリテ、八十

一目也、是皆淨土穢土、同所ニ非ル哉、何ゾ成佛セザラン哉、

〔柿園詠草〕將碁盤

すみわぶるく、め屋形とみらめどもさすがに賤が心をぞやる

二句、久安百首に見えたる詞に、盤面の八十一目をこめたれば、さはきこえがたかるべくや、

〔將碁口傳書〕夫將戲ハ、盤上の一戲也、盤の製たるや、長一尺二寸、幅一尺一寸、その野縱横おのく

九間、總計八十一駒の數四十○中

盤ノ厚サ二寸七分是定寸也 盤ノ高サ定リナシ凡七寸也 木ハ日向ノ樞ヲ上品トス

〔明月記〕建仁三年十二月十日、宇治之間事々、問有長朝臣、小々散不審○中御座落居、炭櫃文机等御

座傍立、置物厨子、置笛宮筥、和琴等、其傍置圍碁、雙六、將騎等盤、

〔太平記十一〕筑紫合戰事